

「がんサバイバー向けビューティー事業」を展開する新会社を設立 社内ベンチャー制度発、従業員の経験と想いから事業化へ

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、グループ従業員2名(水田悠子、齋藤明子)と共に、がんサバイバー(経験者)向けのビューティー事業を展開する新会社「株式会社 encyclo(エンサイクロ)」を共同設立しました。がん闘病経験・がん患者支援経験のある従業員が自身の想いをもとに、社内ベンチャー制度へ立案、事業化が決定したものです。

創業者2人の経験をもとに、これまで見落とされがちだった、病気と向き合う方の「美しくありたい」想いに着目。メディカルシーン(医療)と、ビューティーニーズ(美容)の橋渡しをする商材を開発・販売します。

第一弾として、がん治療後の後遺症「リンパ浮腫」に悩む方のニーズに応えるアイテム(着圧レッグウェアやインナーウェア等)を展開します。



【会社概要】

株式会社 encyclo(エンサイクロ)
<https://www.encyclo.co.jp/>
設立:2020年5月7日
代表取締役社長:水田悠子
共同創業者/取締役:齋藤明子
所在地:東京都中央区銀座1-7-7
資本金:100万円
事業内容:レッグウェア・インナーウェア
等の開発・販売

【共同創業者コメント】

「29歳でがんにかかり、命は助かったものの、後遺症に悩みました。常に分厚いストッキングを履くこと、脚に負担がかからないように洋服や靴選びで制限がかかることがとてもショックでした。ファッションや美容を通じて『ありたい自分でいられること』は、人生のどんなシーンでも必要不可欠だと信じています。この事業を通じて、誰もが美しくありたい気持ちを我慢しないでいい社会を創っていきたいです。」
(水田悠子)

「二人に一人ががんにかかる時代と言われています。医療の進歩により、がん後のその人らしい人生とは何か、をもっと真剣に考えるべき時代になってきたと感じます。ポーラ在籍時、がんに関する企業活動を立ち上げる中で、その思いがより強くなりました。その人らしくいるためのビューティーを創出していきたくて考えています。」
(齋藤明子)



共同創業者 左:齋藤明子、右:水田悠子